



みなみっ子

27号

令和7年11月28日(金)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学校教育目標

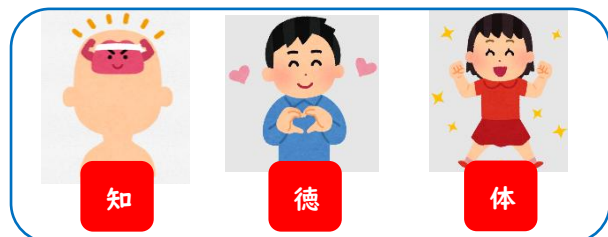
〇かしこく

〇やさしく

〇たくましく

次年度以降の学校教育目標について

令和8年から学校教育目標を変更する予定です。教職員へは9月と10月の職員会議で説明をし、了解を得ています。今年度までの学校教育目標は「かしこく」(知)「やさしく」(徳)「たくましく」(体)で、知徳体のバランスのとれた子を育むことを目標としてきました。変更するということはこれまでの学校教育目標を否定することではありません。より現在の学校教育が目指すものへとバージョンアップします。



じりつ
自立

きょうどう
協働

そうぞう
創造

現行の学習指導要領の実現は「主体的・対話的で深い学び」の授業を通して行われています。私たち学校においても日々、その様な授業ができるよう改善に努めています。これからの世の中は予測困難といわれ、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに(自立)、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え(協働)、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること(創造)がより必要になります。国が示す(OECDのラーニングコンパスも同じ方向性)教育の方向性と同じ、自立、協働、創造を教育目標とし、日々達成に向けた授業実践を心がけていきます。



令和8年度 南城市立大里南小学校グランドデザイン(案)

〇自立

〇協働

〇創造

学校教育目標

目指す児童の姿

自立(夢や目標に向かって主体的に取り組む)

協働(あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働する)

創造(他者とのかかわりを通して考えを共有し、新たなモノを創る)

学校教育目標(総括目標) みんなが安心して学べる学校:誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

目指す学校像 学校課題の解決と教育目標の具現化へ向けて、全教職員が協働体制のもと、共通理解・共通実践で教育活動を展開し、必要に応じて関係機関と協働する。

(「チーム大南」協働を実践する)

授業づくり:主体的・対話的で深い学びの具現化

※学習指導要領に準拠した授業実践

※全ての子が参加でき、分かる、そして楽しい授業(UDの視点)

※授業をとおして、児童の学習への当事者意識を高める

学習者のエージェンシー(Student Agency)

※生活科、総合的な学習の時間を中核として探究的な学びを充実させる。

・授業改善:個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

・教科横断的な学習(学年掲示板を活用した見通しと振り返り)

・適宜、必要な児童への補充学習(評価Cを出さない関わり)

生徒指導の充実(生徒指導提要の具現化)

※自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成

※生徒指導の重層的支援構造の具現化

常態的・先行的(プロアクティブ)生徒指導→即応的・継続的(リアクティブ)生徒指導

発達支援の生徒指導→課題予防的生徒指導(課題未然防止教育・課題早期発見対応)→困難課題対応の生徒指導

特別活動の充実

※様々な集団活動を自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。

・係活動と当番活動の充実 話し合い活動の充実

・各種委員会活動の充実 クラブ活動の充実

・キャリア教育の充実

健やかな体づくり

・家庭と連携し基本的な生活習慣の確立に努める。

・体育的行事の取組の工夫と体力の向上を図る。

・食育指導と健康教育の充実を図る。

・なわとび運動やケンパーの奨励を行う。

教職員の資質能力の向上

◎全職員の共通理解、共通実践、協働体制で教育目標の具現化をめざし教育活動を推進する。

◎教育のプロとして、常に高い専門性、指導性、使命感、責任感を発揮する。また緊密な「報告・連絡・相談・確認」体制の機能化を図る。また、学級の枠を超えた結びつきにより同僚性を発揮する。

◎個々人の資質向上と組織的な取り組みにより、それぞれのキャリアステージの教職員が活躍できる学校づくり。

教師エージェンシー(Teacher Agency)

OECDでは、エージェンシーを、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」と定義しています。

地域と共にある学校づくり

学校運営協議会の運営充実を図ることで学校・家庭・地域社会・関係機関との連携を密にし、地域に根ざし社会に開かれた教育課程を実施し、信頼される学校づくりを推進する。

保護者・地域のエージェンシー

教育活動を支える環境づくり

※児童の興味関心を誘発する環境構成を工夫する。

※自己の心身の健康管理を大切に「働き方改革」に取り組む。

各担当による積極的な学校経営への参画ならびに、その都度の評価改善の実施